

令和4年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイル 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和4年12月 回答数：9

| チェック項目 | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点など | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|----|-----------|-----|--------------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 7 | 2 | 0 | 特徴の異なる4つの部屋を使い分けている。 | |
| | 2 | 8 | 1 | 0 | 法令を遵守し、ご利用者の状況等により加配での配置も行っている。 | |
| | 3 | 8 | 1 | 0 | | |
| 業務改善 | 4 | 7 | 2 | 0 | 打合せ・ミーティング・振り返りの機会を設けている。 | |
| | 5 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 6 | 8 | 1 | 0 | 書面及びホームページでの公開を行っている。 | |
| | 7 | 4 | 2 | 3 | | 現時点では第三者評価は実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。 |
| | 8 | 9 | 0 | 0 | 外部研修及び事業所内研修を実施している。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 | 8 | 1 | 0 | アセスメント方法や計画作成方法について定期的に見直しを行っている。 | |
| | 10 | 6 | 3 | 0 | 発達年齢・特性に応じたツールを作成している。 | |
| | 11 | 8 | 0 | 1 | 毎日プログラム、活動内容、支援方法の検討を行っている。 | 個々に配慮がなされた活動プログラムの立案を日々行っていく。 |
| | 12 | 9 | 0 | 0 | 様々なことを経験して欲しいという視点を軸に、選択できる機会を設けている。 | |

| チェック項目 | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点など | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|----|-----------|-----|-------------------------------------|---|
| 適切な支援の提供 | 13 | 9 | 0 | 0 | 目標やねらいがより明確になるように工夫している。 | |
| | 14 | 9 | 0 | 0 | 利用時間に合わせて活動時間や内容の配慮を行っている。 | |
| | 15 | 9 | 0 | 0 | 個別と集団活動を織り交ぜた活動プログラムを立案している。 | |
| | 16 | 9 | 0 | 0 | 職員の勤務体制に合わせ、2回に分けて行っている。 | |
| | 17 | 7 | 2 | 0 | 業務終了後に振り返りの機会を設けている。 | 長期休暇時の時差勤務時の打ち合わせが課題。引継ぎ書や活動計画書及び記録を効果的に活用していく。 |
| | 18 | 8 | 1 | 0 | 個別の記録の他に活動記録もとっている。 | 記録の取り方（内容）の工夫はさらに必要。支援計画に基づき、今後の支援につながる記録を残す。 |
| | 19 | 9 | 0 | 0 | モニタリング内容と面談を踏まえて、計画の見直しを検討している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 6 | 3 | 0 | | 職員の入れ替えや短時間職員に対しても、しっかりと周知していく必要がある。 |
| | 21 | 9 | 0 | 0 | 児童発達支援管理責任者だけでなく、現場担当者も参加する機会を設けている | |
| | 22 | 9 | 0 | 0 | 保護者と学校から協力いただき、情報共有を行っている。 | |
| | 23 | 4 | 5 | 0 | 現在は対象者なし。 | 地域ニーズに注視しながら、必要に応じて受け入れを検討していく。 |
| | 24 | 5 | 4 | 0 | ケースによっては児童発達支援及び保育園の訪問を行った。 | 児童発達支援事業を利用していなかった方の情報共有が課題。 |
| | 25 | 8 | 1 | 0 | 独自の引継ぎ書類の作成、提供や「つながる支援ファイル」を活用している。 | |
| | 26 | 7 | 2 | 0 | 専門機関と連携している。 | |

| チェック項目 | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点など | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|------------|----|---|---------------|-----|-----------|--|---|
| | 27 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 6 | 1 | 併用している方の情報共有は行っている。 | 交流の機会の在り方について検討が必要。個々の意思にも配慮したうえで行う必要がある。 |
| | 28 | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | 9 | 0 | 0 | 委員をしている。ワーキンググループに参加している。 | |
| | 29 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 9 | 0 | 0 | 連絡ファイル・電話連絡・LINE・面談など状況に応じて、手段を組み合わせている。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 9 | 0 | 0 | 個別に必要な支援や助言を行っている。 | 保護者間のつながりがもてるような企画を実施していく。 |
| | 31 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 32 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 9 | 0 | 0 | 必要に応じて面談・家庭訪問を行っている。直接だけでなく連絡帳なども活用している。 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 9 | 0 | 0 | おたより、お知らせを適時発行している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | 5 | 1 | | 季節イベントなどを開放的に行えるよう検討していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 8 | 1 | 0 | 感染対策、緊急対応の会議の実施。予防や対策についてお知らせを出している。 | 有事の際に適切な行動ができるよう実践的な訓練を実施していく。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 9 | 0 | 0 | 災害対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 9 | 0 | 0 | セルフチェック、グループワークを実施している。 | 法人での研修会を実施していく。 |

| チェック項目 | | はい | どちらとも えない | いいえ | 工夫している点など | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|----|--------------|-----|---------------------------|--------------------------|
| 非常時等の 対応 | 41 | 7 | 2 | 0 | | 虐待防止委員会で検討、作成中 |
| | 42 | 6 | 3 | 0 | 事前確認。対応の際はダブルチェックを実施している。 | |
| | 43 | 8 | 1 | 0 | 記録の記載。職員会議での検討。 | |

*この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。